



想いから生まれました。

<支援物>

野球を始める・継続するにあたり必要な野球用具（グラブ・バット・シューズなど）

<奨励金>

年額 30,000 円（返還不要、他の奨学金との併用可）

<応募資格> ※以下の条件にすべて該当すること

- (1) 応募時に公立小学校 3 年生又は 4 年生である生徒
- (2) ひとり親の世帯（母子・父子家庭）又は児童養護施設で、生活していること
- (3) 以下の団体に加盟する野球・ソフトボールチームに経済的な理由で、応募時に所属することができていない又は継続することが困難な生徒

・軟式野球連盟      ・ソフトボール協会      ・スポーツ少年団

- (4) 前号のチームに所属した上で、公立小学校を卒業するまで、野球・ソフトボールを継続してプレーする意欲のある生徒

(5) 世帯収入額が 300 万円未満であること

- (6) 応援生徒及び保護者が『ドリームキャッチプロジェクト 規程』に同意していること

<必要書類> ※申請用紙等は日本プロ野球選手会のホームページから取得してください。

- ・申請書
- ・志望理由書（形式自由。野球を始めたい・継続したい理由など）
- ・応募者の年齢を証明する書類
- ・（ひとり親の世帯の場合）収入に関する証明書の写し

※提出書類において記載内容が事実と異なる場合は、採用を取り消す場合があります。

<応募締切> **2021年11月1日（月）必着**

※上記期日までに必要書類が到着しない場合、選考へと進めないことがあります。

＜応募方法＞ 申請書類等の必要書類は、郵送にて『日本プロ野球選手会「ドリームキャッチプロジェクト」係』へ提出

※個人での申請となります。

【送付先・問合せ先】

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町10-5 ドウ・ビル  
3階

日本プロ野球選手会「ドリームキャッチプロジェクト」係

TEL：03-3663-6085 E-mail：info@jpbpa.net

※詳細については下記の日本プロ野球選手会ホームページをご覧ください。

日本プロ野球選手会ホームページ

<http://jpbpa.net/lp/>

#### ■ 支 援 情 報 —————

##### ◆長崎県ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付

就職に有利な資格取得のための訓練資金を貸付します！

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、入学準備金・就職準備金を貸付。取得した資格を活かして就職し、県内で5年間継続して就労した場合には貸付金の返還免除となる制度です。

【貸付額】

○養成機関への入学時に、入学準備金として50万円以内を貸付。

○養成機関を修了し、かつ、資格を取得した場合に、就職準備金として20万円以内を貸与。

※無利子（保証人がいない場合には有利子）

【返還免除】

貸付を受けた者が、養成機関卒業から1年以内に資格を活かして長崎県内で就職し、原則として5年間継続してその職に従事したときは、貸付金の返還を免除。

【申請先】

- ・町（長与町、時津町、東彼杵町、川棚町、波佐見町、佐々町、新上五島町）にお住まいの方は、県の福祉事務所の相談窓口
- ・市にお住まいの方は、それぞれの市福祉事務所の相談窓口
- ・長崎市にお住まいの方は、長崎市子育て支援課の相談窓口
- ・佐世保市にお住まいの方は、佐世保市子ども子育て応援センターの相談窓口
- ・小値賀町にお住まいの方は、小値賀町福祉事務所の相談窓口

※詳しくは下記にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

〒852-8555

長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター2F

社会福祉法人 長崎県社会福祉協議会 ひとり親家庭貸付担当

電話 095-894-4027 FAX 095-844-5948

■ 9月の予定-----

◆「YELLながさき定期法律相談」

9月15日（水）13:00～16:00 《事前予約受付中》

鷲見 賢一 弁護士

弁護士法人 ALAW&GOODLOOP 長崎オフィスホームページ

<http://agl-law.jp/aboutus/office/nagasaki-office/>

※日程等合わない場合はご相談ください。

※来所しての相談が難しい場合は、電話法律相談も行なっております。まずはお問合せください。

■ 編集後記 -----

◆片翼の小さな飛行機

東京パラリンピック8日目を迎えています。それぞれの障害に合わ

せて失ったところを人やスポーツ用車いす、義肢等で補い残された機能を最大限に生かして戦う姿にはついつい引き込まれてしまいます。パラリンピックは、あきらめず挑戦し続ける人間の姿がどれだけ美しいかを教えてください。

「見えないけれど誰もが翼を持っていると思う。翼を広げて生きていく人生」

これは、開会式のテーマ「翼」の主人公役に抜擢された和合由依さん（13歳）のメッセージです。ちなみに由依さんにとって翼とは、「勇気」だそうです。由依さんには生まれたときから脚と左手に障害があります。飛ぶことを諦めていた片翼の飛行機が、翼を広げて生きている人間と出会い、飛び立つ勇気を得ていく物語を存在感満点の演技で魅了しました。